



●ガバナー 成田 秀治 ●会長 西尾 和樹 ●幹事 慶徳 拓也 ●コミュニケーション委員長 吉田 立盛

ホームページ：<http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/> Email：[hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp](mailto:hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp)

Facebook ページ：<https://www.facebook.com/hachinoheminamirc/>

f Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：<http://www.rotary-aomori.org/2020/>

## 第 2190 回 例会 記録

《米山奨学生卓和例会》

2021 年 10 月 14 日 (木)

点鐘 12:30

レポート No. 1622



吉田副 SAA

## 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実か どうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるか どうか



## 《ゲスト》

R I D 2830 代米山記念奨学委員会

委員長 三浦順子様 (弘前アップル RC)

委員 平野榮子様 (八戸北 RC)

米山奨学生

チャンタラカーンターノン・サスイワラーさん(タイ)

## 《出席報告》中村委員長

正会員数 31 名。本日の出席は免除会員 4 名を含む 17 名。出席率は 65.4% です。



## 《会長要件》西尾会長



みなさん、こんにちは、本日は、米山奨学生であります Chantrakantanon Sasiwara (チャンタラカーンターノン・サスイワラー) さんにお越しいただいております。弘前大学大学院地域社会研究科に在籍されており、博士課程の 3 年生です。ニックネームは、「サッシー」ですので、みなさん、サッシーと呼んでください。

さて、八戸南ロータリークラブでは、先週からホテルでのハイブリッド例会を再開しております。今日は、吉田立盛会員がオンラインで参加していただいております。先週は、米山記念奨学事業について、小原副委員長に動画を交えて卓話していただきましたので、みなさん、今日の卓話を楽しみにしていると思います。

それでは、サッシー、本日はよろしくお願いたします。

## 《結婚記念日》



櫻田会員

## 《幹事報告》清川副幹事

・ロータリー 100 年史に黒田会員が掲載されています。購入されなかった方のレターボックスにコピーを入れてあります。事務局にも冊子がありますのでご覧にな

りたい方はご自由にご覧下さい。当地区からは開場 P G も掲載されております。

・ハイライト米山が届いています。

・例会変更のお知らせ、八戸北 RC、感染防止のためメーキャップの受付はしていませんが通常例会を行っております。八戸中央 RC、10 月 18 日のみ例会開催、メーキャップは受け付けております。

・佐賀・長崎豪雨災害支援は本日迄受け付けております。

・八戸市を緑にする会より第 50 回菊まつりのご案内が届いています、11 月 6 日から 8 日、会場ははっちとマチニワです。

・八戸学院光星高校より文化活動発表会開催のお知らせが届いています。11 月 12 日八戸市公会堂ですが今回はコロナ感染症の関係で生徒教員のみでの開催という事です。

・地区財団セミナーの報告書が届いています。

・そろそろインフルエンザの予防の時季になりましたので主治医の先生に相談の上コロナと合わせて予防に勤めてください。



## 《ニコニコボックス》

三浦順子様：本日はよろしくお願致します。

平野榮子様：本日はよろしくお願致します。

西尾会長：チャンタラカーンターノン・サスイワラーさんようこそいらっしやいました。

黒田会員：米山記念奨学生、わざわざ来てくださりありがとうございます。石橋さん、「日本の 100 名のロータリアン」の原稿ありがとう



ございました。

**小原会員**：奨学生のサンタラカーンターノン・サスイワラーさん、地区米山委員長三浦さん、平野地区委員、ようこそ。本日はよろしくお願ひします。

**熊谷会員**：小原副委員長、今日はよろしくお願ひします。サッシーさんようこそ！！

**伊藤会員**：サッシーさんようこそ、今日はよろしくお願ひします。

**清川会員**：サッシーさんようこそいらっしやいました。

**吉田賢治会員**：三浦様、平野様、サッシーさんようこそ八戸南ロータリークラブへ。今日はよろしくお願ひします。

**中村会員**：サッシーさんようこそいらっしやいました。今日はよろしくお願ひします。

**結婚記念日：櫻田会員**

### 《国際奉仕委員会》小原副委員長



今年度の国際奉仕委員会米山担当副委員長の小原です。まず最初に本日米山の寄付をいただいておりますのでお名前だけ読み上げます。西尾会長、清川会員、田守会員、それと私ということです、よろしくお願ひいたします。

それでは地区の米山委員長の三浦さんからご挨拶と奨学生のご紹介をお願い致しますのでよろしくお願ひいたします。

### 《ご挨拶》地区米山委員長三浦順子様

米山奨学会の三浦でございます。日頃米山奨学会の事業に多大なご理解とご協力本当に有難うございます。現在2830地区12名の奨学生がいます。国別ではタイが4名、中国4名、マレーシア2名、ベトナムとインドが各1名、大学別では弘前大学が6名、青森中央学院大学が4名、青森公立大学と青森大学が1名ずつになっております。4月に卓話講習会をやりまして、「さあ今年は頑張るぞ」と指導してきたのですが、昨年同様コロナの影響で今回はむつ中央RCさんに続いて2回目の卓話になります。この地域で頑張っている、奨学生たちは本当に頑張っていますので、何とか奨学生たちの頑張りをお伝えしたいと思ひまして、今、インターネット経由で皆さんに配信できるように企画を進めております。本日は本当にお呼びいただき有難うございます。この後本人から自己紹介があると思ひますので、その方がいいと思ひますのでサッシーあとはよろしく。



### 《米山奨学生卓話》

#### チャンタラカーンターノン・サスイワラーさん

皆様こんにちは、サワディーハー、初めましてお目にかかります、タイから参りましたチャンタラカーンターノン・サスイワラーと申します。現在弘前大学大学院地域社会研究科地域産業コースの3年生に在籍しており、ロータリー米山記念奨学生として弘前



西ロータリークラブにお世話になっております（録音不備一部省略）名前が結構長いので別の短いあだ名をつけています。実は私のタイ語の名前日本の方々にはちょっと呼びにくいのではないかと申ひ下の名前のサスイワラーから元AKB48の指原莉乃さんの（サシハラ）サッシーと呼んでいただいても結構です。私の苗字と下の名前の意味は同じです。夜空の中に美しい月の光が浮かんでいるということで、実はタイ人の苗字が初めてできたのは100年前、当時はラーマ6世、今はラーマ10世ですが私のおじいちゃんが当時ラーマ6世の下で裁判官として働いていましたのでこういう長い苗字をいただきました。苗字は変更したいと思ひても勝手に出来ません。王様から授けられた名前なのでもし結婚して変更するときは王様に申請して認めてもらって変更できます。ですから省略したいと思ひても出来ません。

私が日本の事を初めて知ったのは14、5年前です。小学6年生の時にお父さんの考えで世界の第三言語が必要ではないかということで当時日系企業がタイで流行っていたので日本語の勉強を勧められました。その時1年間北海道で素晴らしい体験をしまして卒業した後に3年ほど日系企業で働きましたが自分がもっと新しいことにチャレンジしたいと思ひ修士課程へ進学することを決心しました。大学はどこの大学へ進学するかでタイのシンガポールか日本か、もしシンガポールを選ぶと英語とタイ語しか使えないじゃないですか、なので自分が10年くらい勉強を重ねてきた日本語は使えなくなることになるので、結局再び日本に留学することにしました。修士課程は青森中央学院大学に進学して勉強した後に現在博士課程の弘前大学大学院地域社会研究科に在籍しております。



なぜ青森県を選んだのか、二つの理由があります。一つ目は先ほど紹介した青森中央学院大学がタイの母校の提携校で結構親しい関係にあったので中央学院大学にしました。二つ目の理由は個人的な理由で寒いところが大好きです。タイは1年中暑くて雪は絶対降ってこないですよ、なのでタイ人は人生の中で1度雪を体験したいです。青森市は世界一雪の降っているところですよ。なので暑い国から来ている私は雪国を体験できると思ひ青森市を選びました。

将来の目標と夢です、将来に関しては今観光について研究しています、今年5年目です。青森での経験と自分が生まれたタイでの生活をもとにしてタイの王国の観光庁のコーディネーターとしてタイと日本の橋渡しと国際関係をもっともっと親密になれるように頑張りたいと思ひます。もう一つの夢は母の地元、東北地方のチャイヤブーム県という県でコミュニティーセンターのような所を作りたいと思ひます。コミュニティーセンターを通じて大都会と地方のネットワークを作って運営の利益で子供たちに無料で日本語のコースの様な所を開きたいと思ひ

ています。

私の趣味ですが一つ目はカラオケです。最近ハマっている歌は多分皆さんご存知と思いますが「北酒場」です。この歌を初めて知ったのはお兄さんからです。私のお兄さんも日本語を勉強しています。日本に旅行してきたときに居酒屋でこの歌が流れていて、この歌「メッチャいいんじゃない」ということで毎回毎回車の中で流されて「北の酒場通りには長い髪の女が似あう」というフレーズが頭にポンと入ってしまいました。もともと私のお母さんはタイのダンスの教師なので、小さいころから歌ったり踊らされたりしていましたので日本に来たらよくカラオケに行っています。もう一つの趣味は写真を撮ることです。私の撮った写真です、岩木山神社と十和田湖です。私の親戚がタイ元代表のサッカー選手でその影響でサッカーを観戦するのを楽しみにしています。実はこの写真は3年前のキリンカップで日本代表戦を仙台まで見に行きました。八戸にはJ3のヴァンラーレがありますがその試合を見に行きたいです。去年は試合の中止とか弘前大学の自粛とかあってなかなか来られませんでした。時間があれば見に来たいと思っています、サッカーに関心のある方、どなたか一緒に行きませんかと声をかけたいです。



わたしの家族を少しご紹介します。私の家族は6人で母方の所に住んでいます。祖父と祖母、祖父が82歳で祖母も同じ年で82歳です。こちらはお母さん、お父さんとお兄さんです。私の

母は博士課程を持っているので私はどちらかという母をロールモデルとして母を目ざして、母のようになれるように頑張るって博士号をとりたと思っています。こちらは父方のおばあちゃんです。今年98歳です。来年99歳になりますが2年間全然タイに戻れないのでよくビデオ電話をかけてきて、いつ卒業するの、もし卒業するんだったら卒業式に参加しに来ると言われていますけれども大丈夫かなと思っています。

タイについて少しご紹介します。「タイに行ったことがある方いらっしゃいますか」何人かいらっしゃいますが少しご紹介します。私が生まれたところはバンコクの首都です。タイは東南アジアに位置していて西はミャンマー東はカンボジア、北はベトナム南はマレーシアに沿っています。タイの面積は約51万4千㎡で人口は6千9百万人です。民族はタイ族、華人、マレー族と少数民族です。私の家族は父方のおばあちゃんが中国人のハーフです、なので私の場合は4分の1が華人で中国が少し入っています。こちらがバンコクで私が生まれて住んでいるところです。バンコクといえば東京のようなところです。何でもあるというイメージです。バンコクは大勢の人が集まって大都会で、高層ビルばかりになっていて、モノレールとか地下鉄もそろっているんで結構便利な所です。バンコクといえばお寺とか、タイは結構仏教が強いので色々観光のでき



るお寺があります。もう一つおすすめしたいのはワッアルンというお寺でアルンというのは太陽の光なので、太陽が昇っている時とか夕日の風景が見たければこのお寺がおすすめです。このお寺はラーマ3世が作られているので特別なのは5重の塔や中国から輸入されているお皿を飾っているところです。

私の母の地元はチャイヤーブーム県です。バンコクで生まれ育ちましたが毎年の学校の休みには母方の祖父と祖母がいるチャイヤーブーム県に3か月くらい行って暮らしていました。この写真で分かるように結構自然の多いところで実は青森県と似ているところがあります。チャイヤーブーム県は農業県なので主な農産物は米、サトウキビとキャッサバ芋です。チャイヤーブーム県には大きな峡谷があるので1年中風が吹いているので風力発電所が建設されています。東南アジアの中では一番大きな風力発電所です。こちらの風景で見るとまるで鱒ヶ沢でないですか、鱒ヶ沢とむつの横浜町の風景に結構似ているのではないかと思います。チャイヤーブーム県の有名なお花、タイのチューリップといわれているお花グラジャオです。これが弘前の桜のように有名でそんなところも似ていると考えられます。タイの季節は四季ではなく三つしかありません。夏、雨季と乾季で冬はありません。大体3月から5月は夏で気温は31℃位ですけれども35℃から40℃を超える日もあります。6月から10月は雨季の季節で平均気温は28℃だけど1日中台風とか大雨の降る日が何度も来ます。11月から2月は乾季なので平均気温は27℃、全然雨が降らないので観光には最適なのではと思っています。タイの一年の平均気温は30℃位なので日本の夏は大丈夫でしょうとよく言われますが実は全然そうではないです。日本とタイの夏の違いは、日本はまぶしくて湿気が高いです。風が少ないし過ごしにくく感じています。タイは日差しが強くて蒸し暑いですが風が吹いてきますので涼しく感じます。日本と比べたらタイの方が暮らしやすいのではないかと思います。



続いてタイの代表的な料理トムヤムクンです。お召し上がったことがありますでしょうか、トムヤムクンの意味はトムは煮る、ヤムは混ぜる、クンはエビです。なのでいっぱいトムヤム

があります、エビだけじゃなくてチキンとか海鮮もあります。トムヤムクンの味は酸っぱい、辛い、甘い、の三味があってタイではいっぱい入っているのですけれどもタイ人は二つだけ食べています。エビとふくろ茸です。他にレモングラスとかこぶみかんの葉っぱとかは香のために入れているだけですので食べないです。食べている人もいますが美味しくありません。

次は皆様のお手元にあるタイの代表的なお土産を紹介したいと思います。実はこれはタイで有名で、特に夏ですが夏でなく



でも使えます。ヤードムというものです。ヤードは口でドムは嗅ぐで、ヤードムは嗅ぐ薬です。ヤードムの主な成分はメンソール、ペパーミント、ユーカリなどで、めまいの時、暑さで頭が痛いとき、鼻炎や花粉症で鼻水が出る時、乗り物酔いの時、仕事中や運転中に眠気で目を覚ましたい時などにこのスティックのキャップを回して鼻の下にもって行って嗅ぐとすっきりして目が覚めます。それだけではなくて下の部分には液体が入っています。こちらの液体はアロマの液体なので蚊に刺されたときには清涼感のある香りで痒みを和らげます、そのほかには鼻の下とかまつ毛にしみこませるのもおすすめです。皆様にヤードムをお使いいただければと思います。ぜひ使ってみてください。(会員全員にプレゼントしていただきました、サッシーありがとう)



大学の研究についてお話しいたします。大学ではどんな研究をしているのか、只今青森県でのグリーンツーリズムについて研究しています。なんのグリーンツーリズムかと簡単にご説明

すると体験型、文化交流型の農家民泊です。去年は青森県における農家民泊のタイ人の行動、満足、動機の研究を実施していて、マレーシアの論文では満足度はサービスの品質と訪問者の行動に影響を与えるということなので、去年は青森中央学院大学とアジアからの観光誘致推進協議会に協力いただいて、オンラインアンケートを実施しました。傾向として旅行者が日本を2回以上訪問していて、特に教育旅行、研修・修学旅行の傾向が強くて、特に青森県の農家民泊のリピーター率は22%と割合が少し高かったです。しかし結果の中には、青森県の体験を決めた瞬間はどこからかというインターネットと回答している人は10%だけでした。大半は口コミでという回答している人が多く、マーケティングの視点で見ればまだ足りていないのではないかと、特にコロナ禍の中では現地、つまりタイに行つてのトップセールスとかも出来ないのではインターネットは欠かせないものではないかと考えています。結果を踏まえて今の研究のテーマは「国際競争力を向上させるためには東北地方への訪日外国人、つまりタイ人の観光誘致の可能性はどうなっているのか」というテーマを分析していて、次のステップは青森県の訪日外国人、つまりタイ人に向けて誘致モデル、PRモデルなどを考えていきたいと思っています。こちらの写真は毎年タイから中央学院大学へ1ヵ月滞在して日本語を勉強しながら農家民泊を3日間している人たちです。評判は、楽しくてまた戻って来たいという声が上がっていますが、新型コロナウイルスの拡大で2年間出来なかったことがちょっと残念でした。



本題に入らせていただきます。今日のテーマは「お互いを、異文化理解」です。こちらのテーマは先ほどのアンケート調査で実施した一部です。コメントの中で異文化ではないかと気づいたのは、タイには

浴槽につかる習慣はないので、出来ればシャワー室があつてほしい、タイでは最低1日2回朝と夜にシャワーを浴びます。特に他の人に裸を見せないという習慣があつて朝シャワーに時間がかかっています。



日本のかたが習慣を知らなかった場合長く待たせてしまうとか困らせてしまうというコメントがありました。タイは平均気温30℃で1年中暑い国なので夜になつても汗が出てしまいます。

それで朝にシャワーを浴びる必要があつて眠気も取れます。また、昔道路の交通が発展していないときはタイ人は船を使って行動するので、人の移動とか農産物の移動が船を使っていたので川沿いに家を建てました。シャワーを浴びたいとき、浴槽を使いたいときは川です。昔はこの川でいつでも入浴できるので湯船につかるという習慣はないです。もう一つの理由は、タイと日本は仏教が一つの宗教ですね、お坊さんは心を清めるために行水が必要です。それはタイも行っています、そこから日本人が湯船につかるきっかけとなりました。オーストラリアでは水が足りないときがあります。私の友達がオーストラリアに留学していてタイの習慣で2回のシャワーを浴びているのですが、ホストファミリーがシャワー2回は駄目だよ、オーストラリアは水道料金が高し水が不足しているのでシャワーは1回だけです、水が不足している乾季の時はシャワーは5分から10分で済ませるのがマナーだそうです。なので友達にホストファミリーに言われた通りにシャワーの浴び方を変更しました。



私がなぜ異文化に注目しているのかということと日本を訪れる外国人が2年前からだんだん増加になっているので、旅行者のマナーの問題、ゴミの捨て方とか爆買とかの問題は外国人の旅行者と日本人の間にある文化の違いです。自分の国と同じ感覚で行動すると、日本人から見るとネガティブというイメージなのだと感じました。お互いの文化、価値観の違いを理解できればお互いの気持ちを理解できるし、ネガティブというイメージが無くなるのではないかと考えています。先程のコメント通りにこれから改善の方法をアジアからの観光誘致推進協議会に報告して外国人受け入れのマニュアルを作成するか人数の制限をするかをこれから考えていきたいと思っています。

最後になりますがロータリーへの感謝についてお話しいたします。ロータリーのお陰で家族参加の集会や例会に参加させていただき、この様な卓話を通じてロータリアンの方々との交流が出来て、日本とタイの情報交換もできるし、自分の研究の紹介とかも出来るので貴重な経験になりました。ロータリー米山の奨学生としてはあと6ヶ月間しかないのですが、これから6ヶ月間できるだけロータリーの活動に参加させていただきたいと思っています。最後になりますが米山記念奨学金のお陰で生活費の家族の負担が軽くなって自分の研究に集中することが出来ました。ご支援をいただいた皆様に心から感謝致します。

これから青森とタイに貢献できるような研究成果を出せるように頑張っていきたいと思えます。皆様からのご支援、ご指導、よろしくお願いいたします。  
コップンカー、ありがとうございました。

《小原副委員長》

サッシーさん、楽しい卓話ありがとうございました。  
西尾会長一言お願い致します。

《西尾会長》

サッシーさん、素晴らしい卓話ありがとうございました。グリーンツーリズムと異文化交流というところで2国間の橋渡し役としての活躍をお祈りしております。

